

特別展

加賀藩十三代藩主前田齊泰ゆかりの能装束と『申楽免廢論』

武家の能と身体

銅箔花洲浜文様縫箱 国(文化庁保管)前期

金沢では「空から謡が降る」といわれるほどに、加賀藩歴代藩主が能を愛好し、武家の武楽として手厚く保護育成してきました。とりわけ5代藩主綱紀の頃より宝生流が盛んとなり、その伝統は今日の「加賀宝生」に受け継がれています。

本展では、歴代藩主のなかでも能を最も多く自演した13代藩主前田齊泰に焦点をあて、齊泰とその子14代大聖寺藩主前田利徳ゆかりの絢爛豪華な能装束や、明治時代以降に加賀藩と大聖寺藩がそれぞれ尾山神社と江沼神社に奉納した貴重な能面等、初公開の作品を含む約60点を前期・後期に分けてご紹介いたします。

また齊泰が自身の脚気のリハビリとして能を舞った体験等を元に、能の舞や謡の心身における効用を説いた著作『申楽免廢論』に注目し、武家における能と武術との関係や、その身体性・精神性に迫ります。元来、能と武術とは親密なものでした。室町時代の能大夫・金春禪鳳が「兵法は能に近い」「禪鳳雑談」と言及しているのははじまり、豊臣秀吉や前田利家の最前を受けた金春流の能役者・金春七郎氏勝が、柳生新陰流の秘伝を伝授されるほどの剣術の達人であったことや、剣豪宮本武蔵の『五輪書』に能が引き合いに出されていることなどからも、その密接な関係がうかがえます。前田齊泰の能から、当時の武家における能の実際と、現代へ連なるその意義を感じていただければ幸いです。

鼎談：内田樹 × 安田登 × 藪克徳

無料【要観覧料】

要予約／先着 100名

能と身体 - 加賀藩13代藩主前田齊泰『申楽免廢論』をめぐって -

〈日時〉11月3日(土)
14:00~15:30

〈会場〉金沢能楽美術館3階

〈予約〉10月6日(土)
10:00より電話にて受付開始

現代を代表する思想家で、武道と能の実践から中世の武士の身体運用を探究する内田樹氏、能楽師ワキ方でありながら日本に数少ないロルフイングの資格を持ち、和漢の古典から現代のゲームに至るまで幅広く精通する安田登氏、そして金沢能楽会を担う気鋭の宝生流能楽師で、東京大学薬学部出身の藪克徳氏という三方が、能楽と武術における身体運用や精神性、とりまく文化について語り尽します。

内田樹

昭和25年、東京都生まれ。東京大学文学部卒。神戸女学院大学名誉教授。専門はフランス現代思想、武道論。「凱風館」を主宰。



安田登

昭和31年、千葉県生まれ。ワキ方下掛宝生流能楽師。「論語」等を学ぶ寺子屋を主宰。米国Rolf Institute公認ロルファー。



藪克徳

昭和49年、金沢生まれ。シテ方宝生流能楽師。東京大学薬学部卒。東京藝術大学邦楽科卒。19世家家宝生英照、20世家家宝生和英に師事。「篁風会」を主宰。



金沢ナイトミュージアム 2018

オーケストラ・アンサンブル金沢30周年記念

要予約／先着 70名

無料【要観覧料】

能×弦楽四重奏×モダンバレエ - 夢幻の夜会 -

和と洋。古典と現代。相対する文化が、しなやかに共存する街、金沢。

能囃子とモダンバレエが出逢い、気鋭の能楽師がオーケストラ・アンサンブル金沢の四重奏で舞い、和洋の名手たちが繰り広げる一期一会の異流共演。

秋の夜長に夢幻の世界をお楽しみください。

〈日時〉10月7日(日)19:00~(開場:18:30・約60分) 〈会場〉金沢能楽美術館 3階

〈予約〉9月4日(土)受付開始

〈出演〉●オーケストラ・アンサンブル金沢弦楽四重奏 ●江野泉(能管)
●中村香耶(洋舞) ●麦谷暁夫(太鼓)
●渡邊茂人(能舞、謡)

しゅうたい
写謡の会

要予約

1回500円【要観覧料】

静かな時の中、美しい能の謡を書き写し、心身を浄化させてみませんか。当日午後には催される定例能(於石川県立能楽堂)について、能楽師による解説の後、謡本の流麗な文字をなぞります。

〈時間〉10:15~約1時間

〈会場〉金沢能楽美術館 3階

〈持ち物〉筆ペン(または筆・墨・すずり)

〈参加料〉1回500円+観覧料

日程(平成30年)	曲目(予定)	講師(宝生流シテ方)
10月7日(日)	六浦・天鼓	渡邊茂人
11月4日(日)	橋弁慶・當麻	佐野玄宜
12月2日(日)	岩船・通小町	藪克徳

加賀万歳 上演会

予約不要

無料【要観覧料】

金沢市指定民俗無形文化財の加賀万歳による新旧演目をお楽しみください。

〈日時〉10月21日(日) 13:30~14:30(開場13:00)

〈会場〉金沢能楽美術館 3階

〈出演〉加賀万歳保存会

能の楽器体験

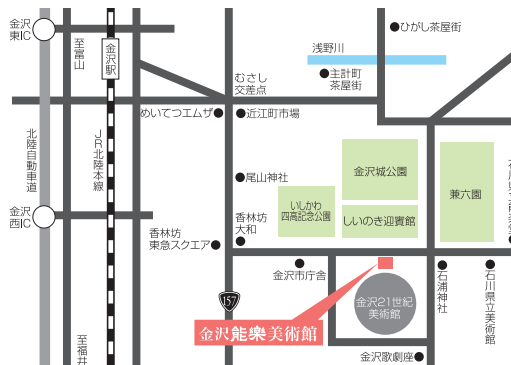
予約不要

体験無料【要観覧料】

〈日程〉10月16日・23日、11月6日・13日・20日
(すべて火曜日)

〈時間〉10:00~17:00
※体験時間20分程度

〈会場〉金沢能楽美術館 3階



【アクセス】金沢駅東口バスターミナルより乗車、「広坂」または「香林坊(アトリオ前)」下車。(所要時間約10分)

Kanazawa Noh Museum
金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25
TEL.076-220-2790 FAX.076-220-2791

http://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp

金沢能楽美術館

検索